

エコアクション21

環境経営レポート

(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年6月2日

株式会社ダイソーフジテック

1. 環境方針

当社は人口が360万人以上の横浜市に拠点を構え、一般廃棄物や産業廃棄物の収集運搬業務、再資源化物の回収・再利用や解体・清掃業務を行っております。将来にわたり健康で豊かな生活を営むために企業活動および社員行動を通じて地域社会の信頼を得られるよう、環境マネジメントシステムを構築・維持し継続的な改善を図るとともに環境保全の向上および汚染の予防に努めます。

環境保全活動に関する基本方針

- ・当社は次世代へより良い環境を残し引き継ぐ使命のもと、資源のリサイクルおよび次の様な項目を環境管理重点テーマとして取り組み、省エネルギー活動を推進していきます。
 1. 運搬車両の燃費効率向上による燃料の削減とCO2削減に努めます。
 2. 電力の使用量の削減に努めます。
 3. 電子マニフェストの導入調査及びテスト運用を行います。
 4. 廃棄物の適正管理に努めます。
 5. 節水による水の使用量の注意喚起を行います。
- ・当社中間処理後の廃棄物の再資源化率向上を目指します。
- ・循環型社会の構築に貢献するためにグリーン購入に積極的に取り組みます。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律をはじめとする関連法規制を遵守するため、従業員全員に環境に関する教育訓練を行います。
- ・この環境方針は社外へも公開し、一般の人にも入手可能なようにホームページなどにより広く開示します。

平成24年9月12日改定
株式会社ダイトーフジテック
代表取締役 藤森 俊明

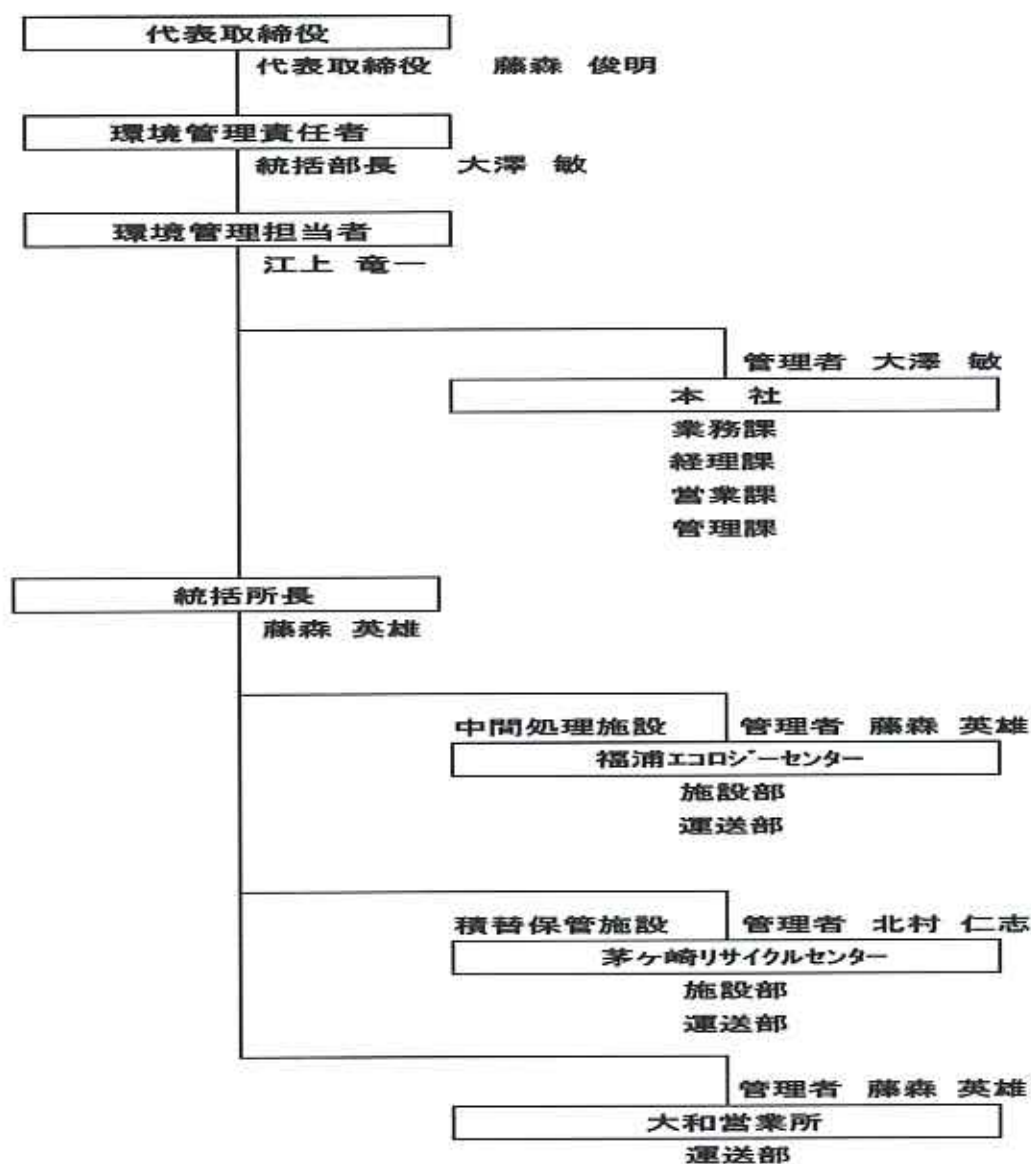
2. 組織の概要に関する情報

2-1. 会社概要

会 社 名	株式会社ダイトーフジテック											
代 表 者 氏 名	代表取締役 藤森 俊明											
法人設立年月日	平成3年12月11日											
資 本 金	1,000万円											
事業所所在地 (認証・登録施設)	[本社] 住所:神奈川県横浜市戸塚区名瀬町553番地 電話:045-814-5131 FAX:045-814-5133 [福浦エコロジーセンター] 住所:神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目15番12 電話:045-781-6611 FAX:045-781-3800 [茅ヶ崎リサイクルセンター] 住所:神奈川県茅ヶ崎市芹沢字城ノ腰25番4 電話:0467-54-7341 FAX:0467-52-4228 [大和営業所] 住所:神奈川県大和市上和田1957番地 <table><tr><td rowspan="4">床面積</td><td>本 社</td><td>112m²</td></tr><tr><td>福浦エコロジーセンター</td><td>194m²</td></tr><tr><td>茅ヶ崎リサイクルセンター</td><td>13m²</td></tr><tr><td>大和営業所</td><td>9.5m²</td></tr></table>			床面積	本 社	112m ²	福浦エコロジーセンター	194m ²	茅ヶ崎リサイクルセンター	13m ²	大和営業所	9.5m ²
床面積	本 社	112m ²										
	福浦エコロジーセンター	194m ²										
	茅ヶ崎リサイクルセンター	13m ²										
	大和営業所	9.5m ²										
事業活動の内容	・産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、リサイクル業 ・産業廃棄物処分業(中間処理) ・一般廃棄物収集運搬業、処理、粗大ごみなど搬出作業 ・解体工事請負業 (ビル、工場及び設備ライン、木造建築物、内装解体など) ・清掃業務請負業 (タンク、ピット、スクラバー清掃、充填材撤去など排水処理設備総合メンテナンス及び特殊清掃作業) ・フロン回収業務 ・廃棄物処理に関するコンサルタント ・廃棄物用コンテナ製造販売											

事業の規模	廃棄物取扱量	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	産業廃棄物運搬量	12,458t	14,312t	9,767t	13,085t
	産業廃棄物処分量	6,416t	7,319t	7,472t	6,656t
	一般廃棄物運搬量	4,592t	4,196t	4,677t	4,166t
	売上高 ※1	682百万円	767百万円	642百万円	百万円
	解体工事件数	14件	13件	11件	件 ※3
	従業員数	43人	41人	43人	46人 ※2
※1 売上高については、各年度10月～翌年9月までの期間 ※2 従業員数は、2021年3月末時点 ※3 現在確認中					
環境管理責任者 氏名及び担当者 連絡先	環境管理責任者：統括部長 大澤 敏 連絡先：電話 045-814-5131 FAX 045-814-5133 e-mail daitofujitec@dft.co.jp URL http://www.dft.co.jp				

2-2. 組織図



株式会社ダイトーフジテック従業員数

人員及び所属	本社	福浦エコロジー センター	茅ヶ崎リサイクル センター	大和営業所	総計
正社員	11名	16名	14名	4名	37名
契約社員	0名	0名	0名	0名	0名
パート、アルバイト	0名	0名	1名	0名	2名
派遣社員	0名	0名	0名	0名	2名
所属合計	11名	16名	15名	4名	46名

2021年3月改定

2-3. 産業廃棄物及び一般廃棄物・処理許可内容

産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県
許可番号		第1300002090号	第01413002090号	第01200002090号	第01101002090号
許可年月日		2020年6月9日	2017年4月24日	2021年6月7日	2018年8月27日
許可期限年月日		2025年6月8日	2022年3月15日	2026年5月26日	2023年7月4日
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を含む)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)
取扱 廃棄物 の 種 類	燃え殻	注3○	注3○	注3○	○
	汚泥	注2・3○	注2・3◎	注2・3○	注2○
	廃油	○	◎	○	○
	廃酸	注3○	注3◎	注2・3○	○
	廃アルカリ	注3○	注3◎	注2・3○	○
	廃プラスチック類	注2○石綿	注1・2◎石綿	注2○石綿	注2○石綿
	紙くず	○	◎	○	○
	木くず	○	◎	○	○
	繊維くず	○	◎	○	○
	動植物性残さ	○	◎	○	○
	ゴムくず	○	○	○	○
	金属くず	注2○	注2◎	注2○	注2○
	ガラスくず及び陶磁器くず	注2○石綿	注1・2◎石綿	注2○石綿	注2○石綿
	鉱さい	注3○	注3○	注3○	○
	がれき類	○石綿	注1◎石綿	○石綿	○石綿
	ばいじん	注3○	注3○	注3○	○
政令13号廃棄物		—	○	—	—

○: 取扱可能な廃棄物

◎: 収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿: 石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1: 石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2: 水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3: 水銀含有ばいじん等を含む

産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		静岡県	山梨県	長野県	群馬県
許可番号		第02201002090号	第01900002090号	第2009002090号	第01000002090号
許可年月日		2014年5月9日	2020年7月11日	2018年6月1日	2016年10月18日
許可期限年月日		2021年5月8日 (申請中)	2025年7月10日	2023年5月31日	2021年10月17日
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)
取扱 廃棄物 の種 類	燃え殻	—	—	○	—
	汚泥	○	○	注2○	注2・3○
	廃油	○	○	○	注2○
	廃酸	○	○	○	注2・3○
	廃アルカリ	○	○	○	注2・3○
	廃プラスチック類	○石綿	○石綿	注2○石綿	注2○石綿
	紙くず	○	○	○	○
	木くず	○	○	○	○
	繊維くず	○	○	—	○
	動植物性残さ	○	—	○	○
	ゴムくず	○	—	○	—
	金属くず	○	○	注2○	注2○
	ガラスくず及び陶磁器くず	○石綿	○石綿	注2○石綿	注2○石綿
	鋳さい	—	—	○	—
	がれき類	○石綿	○石綿	○石綿	○石綿
	ばいじん	—	—	○	—
政令13号廃棄物		—	—	—	—

○: 取扱可能な廃棄物

◎: 収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿: 石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1: 石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2: 水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3: 水銀含有ばいじん等を含む

産業廃棄物収集運搬・処分

許認可都道府県政令市		栃木県	茨城県	横浜市	
許可番号		第00900002090号	第00801002090号	第05620002090号	
許可年月日		2016年11月29日	2017年2月2日	2020年1月1日	
許可期限年月日		2021年11月28日	2021年11月28日	2024年12月31日	
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	中間処分 (破碎・圧縮・溶融)	
取扱 廃棄物 の 種類	燃え殻	—	—	—	
	汚泥	注2・3○	○	—	
	廃油	○	○	—	
	廃酸	注3○	○	—	
	廃アルカリ	注3○	○	—	
	廃プラスチック類	注2○石綿	○石綿	○	
	紙くず	○	○	○	
	木くず	○	○	○	
	繊維くず	○	○	○	
	動植物性残さ	○	○	—	
	ゴムくず	—	○	○	
	金属くず	注2○	○	○	
	ガラスくず及び陶磁器くず	注2○石綿	○石綿	○	
	鉱さい	—	—	—	
	がれき類	○石綿	○石綿	○	
	ばいじん	—	—	—	
	政令13号廃棄物	—	—	—	

○:取扱可能な廃棄物

◎:収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿:石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1:石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2:水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3:水銀含有ばいじん等を含む

特別管理産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市	東京都							神奈川県						
許可番号	第 1357002090 号							第 01453002090 号						
許可年月日	2017 年 8 月 5 日							2017 年 4 月 22 日						
許可期限年月日	2022 年 8 月 4 日							2022 年 4 月 21 日						
業の種類	収集・運搬(積替保管を除く)							収集・運搬(積替保管を除く)						
特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等							廃石綿等						
	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)							廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)						
	廃酸(pH2.0 以下のものに限る)							廃酸(pH2.0 以下のものに限る)						
	廃アルカリ(pH12.5 以上のものに限る)							廃アルカリ(pH12.5 以上のものに限る)						
	特定有害産業廃棄物(下記の通り)							特定有害産業廃棄物(下記の通り)						
特定有害産業廃棄物	燃え残	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ばいじん	ばいじん	燃え残	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ばいじん	ばいじん
アルキル水銀化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水銀又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カドミウム又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鉛又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
有機燐化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
六価クロム化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
砒素又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シアン化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PCB	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トリクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジクロロメタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
四塩化炭素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 2-ジクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 1-ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シス-1, 2-ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 1, 1-トリクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 1, 2-トリクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1, 3-ジクロロプロペン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チウラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シマジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チオベンカルブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベンゼン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セレン又はその化合物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイオキシン類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 取扱可能な廃棄物

—: 取扱不可な廃棄物

産業廃棄物中間処分

許認可都道府県政令市	横浜市			
許可番号	第05620002090号			
許可年月日	2020年1月1日			
許可期限年月日	2024年12月31日			
業の種類	中間処理			
処分方法	破碎	圧縮(1)	圧縮(2)	溶融
処理施設能力	22.77t/日	58.15t/日	11.15t/日	0.72t/日
許可品目	廃プラスチック類	廃プラスチック類		廃プラスチック類
	紙くず	紙くず		
	木くず	繊維くず		
	繊維くず	金属くず		
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず及び陶磁器くず			
	がれき類			

一般廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市	横浜市	大和市
許可番号	第1067号	第218号
許可年月日	2020年4月1日	2020年4月1日
許可期限年月日	2022年3月31日	2022年3月31日
事業の範囲	(1)業の種類	収集・運搬 (積替・保管を除く)
	(2)取扱廃棄物の種類	一般廃棄物

建設業

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限年月日
とび土工工事業	神奈川県知事 (般-30) 第61939号	2018年8月24日	2023年8月23日
解体工事業	神奈川県知事 (般-30) 第61939号	2018年8月31日	2023年8月30日

フロン充填回収業

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限年月日	事業の範囲
フロンガス充填回収業	神奈川県許可 神(気水) 第1-464号	2017年4月4日	2022年4月3日	第一種フロン類充填回収業
	東京都許可 13104402	2018年6月24日	2023年6月23日	第一種フロン類充填回収業

2-4. 中間処理施設の内容

中間処理施設情報

施設名	福浦エコロジーセンター			
住所	神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目15番12			
責任者	藤森 英雄			
保管施設面積	1,649.92m ²			
処理方法	破碎	圧縮(1)	圧縮(2)	溶融
処理能力	22.77t/日	58.15t/日	11.15t/日	0.72t/日



中間処理フロー



保有施設

0.45tバックホー 1台	0.16tバックホー 1台	2.5tフォークリフト 1台	3.0tフォークリフト 1台
40t台貫 1基	破碎機 1台	圧縮機 2台	溶融機 1台



中間処理許可品目及び保管量

＜中間処理前の保管＞

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃プラスチックを主とする混合廃棄物	直置き	3.6 m ²	1.8 m ³
ガラス陶磁器くず	ドラム缶	1.00 m ²	0.83 m ³
木くず	コンテナ	6.84 m ²	12.18 m ³
紙くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
繊維くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
金属くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
金属くず	コンテナ	4 m ²	4 m ³
がれき類	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
廃プラスチック類	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ガラス陶磁器くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
がれき類を主とする混合廃棄物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ゴムくず	コンテナ	2 m ²	2 m ³
合計保管量			93.50 m ³

＜中間処理後の保管＞

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃プラスチックを主とする破砕物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
廃プラスチック類	パレット積	4.84 m ²	14.52 m ³
廃プラスチック類	パレット積	4.84 m ²	14.52 m ³
金属くず	パレット積	4.84 m ²	9.68 m ³
繊維くず	パレット積	4.84 m ²	9.68 m ³
紙くず	パレット積	4.84 m ²	9.68 m ³
廃プラスチックを主とする混合廃棄物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
金属くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
がれき類を主とする混合廃棄物	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ガラス陶磁器くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
廃プラスチック類	パレット積	1.6 m ²	4.8 m ³
廃プラスチック類	パレット積	1.6 m ²	4.8 m ³
木くず	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
がれき類	コンテナ	6.84 m ²	8.07 m ³
ゴムくず	コンテナ	2 m ²	2 m ³
合計保管量			212.57 m ³

2-5. 積替保管施設の内容

積替保管施設情報

施設名	茅ヶ崎リサイクルセンター
住所	神奈川県茅ヶ崎市芹沢字城ノ越 25 番 4
責任者	藤森 英雄
保管施設面積	2,340m ²



許可内容及び保管量

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃油	コンテナ	1. 6 0 m ²	2. 4 0 m ³
廃酸	コンテナ	1. 1 2 m ²	1. 1 2 m ³
廃アルカリ	コンテナ	1. 1 2 m ²	1. 1 2 m ³
汚泥	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
廃プラスチック類	コンテナ	6. 8 4 m ²	5. 9 5 m ³
紙くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
繊維くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
ガラスくず及び陶磁器くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
がれき類	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
動植物性残さ	コンテナ	8. 7 4 m ²	7. 5 0 m ³
木くず	コンテナ	1 3. 5 7 m ²	2 1. 7 3 m ³
金属くず	コンテナ	1 3. 5 7 m ²	2 1. 7 3 m ³
ガラスくず及び陶磁器くず	ビット	2 5. 3 2 m ²	2 6. 0 1 m ³
木くず	ビット	2 5. 3 2 m ²	2 6. 0 1 m ³
廃プラスチック類	ビット	2 5. 3 2 m ²	2 6. 0 1 m ³
汚泥※2※3	コンテナ	2. 6 3 m ²	2. 9 5 m ³
廃プラスチック類※2、金属くず※2、 ガラスくず及び陶磁器くず※2	ペール缶・ ドラム缶	4. 5 0 m ²	5. 4 0 m ³
廃酸※3	コンテナ	1. 0 0 m ²	1. 0 0 m ³
廃アルカリ※3	コンテナ	1. 0 0 m ²	1. 0 0 m ³
合計	—	—	1 9 0. 2 8 m ³

※2 水銀使用製品産業廃棄物を含む

※3 水銀含有ばいじん等を含む

保有施設

0.45バックホー	1台
2.5tフォークリフト	1台
3.5tフォークリフト	1台
ホイールローダ	2台
40t台貫	1基



2-6. 保有車両

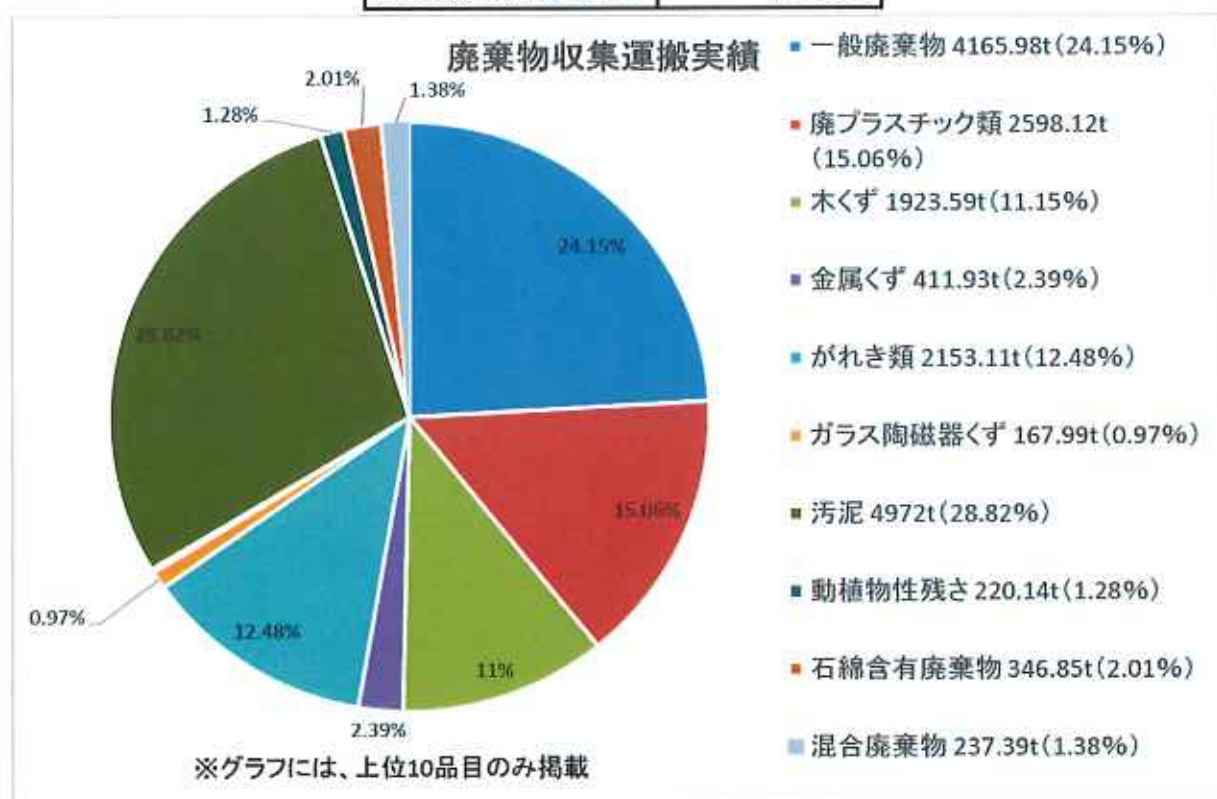
車 種	軽・乗用車	2t車	3t車	4t車	10t車
アームロールコンテナ車		1台	3台	9台	3台
アームロールコンテナ車(ユニック付)				1台	
塵芥車		2台	8台	4台	
平ボディー車		3台		2台	
平ボディー車(ユニック付)				1台	
その他	6台				



2-7. 廃棄物収集運搬実績

(2020年4月～2021年3月)

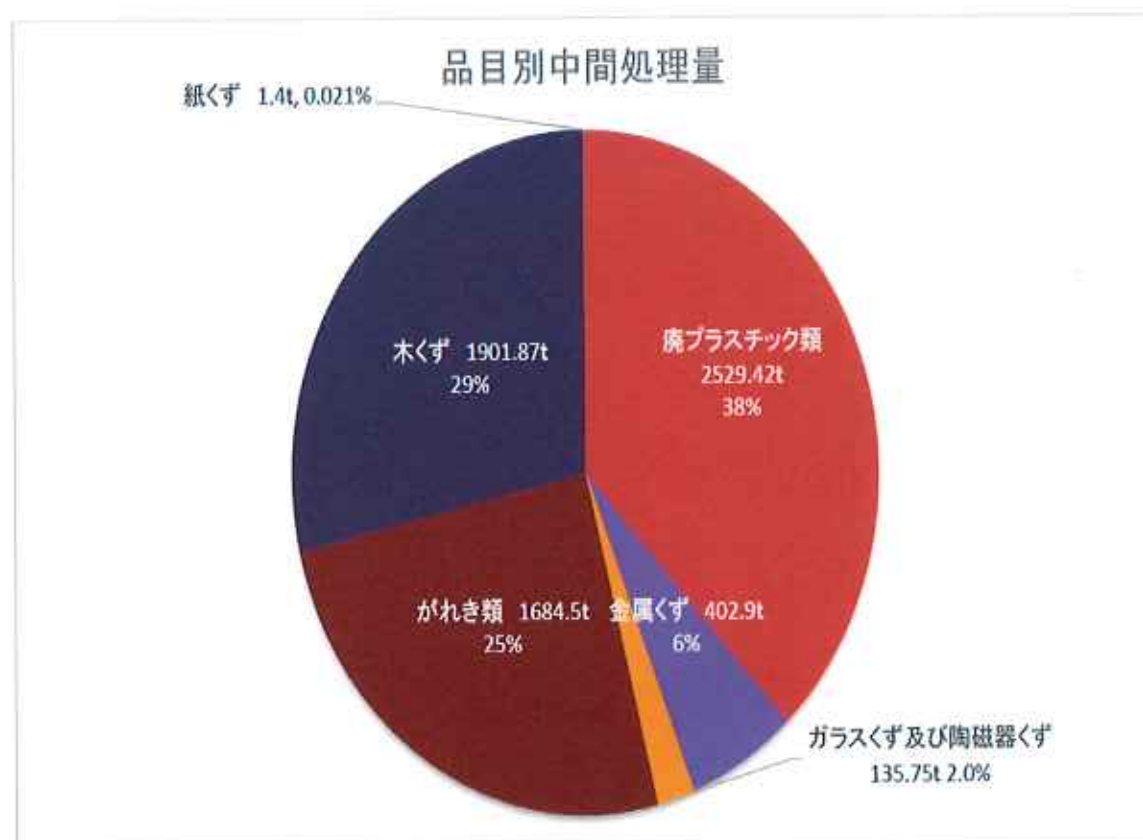
廃棄物の種類	数量(t)
一般廃棄物	4165.98
廃プラスチック類	2598.12
木くず	1923.59
金属くず	411.93
がれき類	2153.11
ガラス陶磁器くず	167.99
廃油	31.45
廃油(特管)	5.21
汚泥	4971.98
汚泥(特管)	0.68
動植物性残さ	220.14
石綿含有廃棄物	346.85
紙くず	1.40
燃え殻	0.05
廃酸	0.50
廃酸(特管)	0.31
廃アルカリ	10.47
水銀使用製品産業廃棄物	3.74
混合廃棄物	237.39
廃棄物収集運搬量合計	17,250.89



2-8. 産業廃棄物中間処理実績

(2020年4月～2021年3月)

品目	数量(t)
廃プラスチック類	2529.42
金属くず	402.9
ガラスくず及び陶磁器くず	135.75
がれき類	1684.5
木くず	1901.87
紙くず	1.4
中間処理量合計	6655.84



2-9. 産業廃棄物中間処理後の再資源化実績

(2020年4月～2021年3月)

内訳	品目	処理内容詳細	数量(t)
最終処分	廃プラスチック類	(安定型最終処分場)	88.54
	ガラス・陶磁器くず	(安定型最終処分場)	51.54
	がれき類	(安定型最終処分場)	226.4
最終処分量合計			366.48
内訳	品目	処理内容詳細	数量(t)
再資源化	廃プラスチック類 (原料)	(原料として再生利用)	189.51
	廃プラスチック類 (燃料)	(燃料として再生利用)	2251.37
	木くず	(チップ燃料及びボード原料として再生利用)	1901.87
	金属くず	(製鉄原料として再生利用)	402.9
	がれき類	(路面材として再生利用)	1458.1
	ガラス・陶磁器くず	(原料として再生利用)	84.21
	紙くず	(原料として再生利用)	1.4
再資源化量合計			6289.36

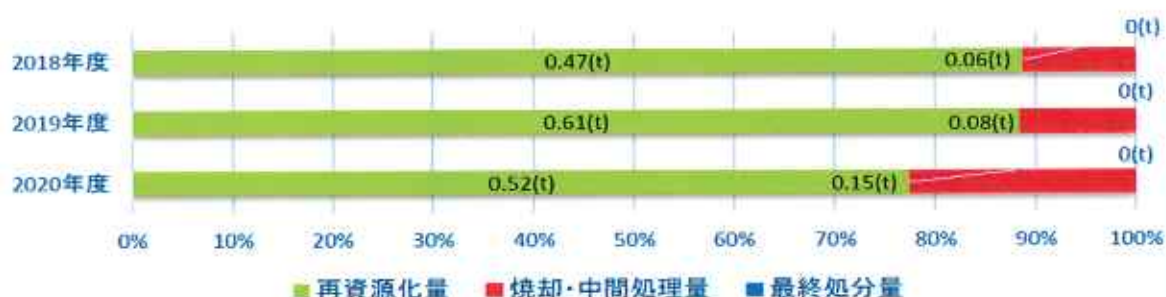


2-10. 廃棄物の排出量実績

単位: (t)

	廃棄物名	2020年4月～2021年3月			合計
		再資源化量	焼却・中間処理量	最終処分量	
一般廃棄物	紙類	0.424			0.424
	缶	0.012			0.012
	びん				0
	ペットボトル	0.024			0.024
	プラスチックごみ	0.044			0.044
	可燃ごみ		0.151		0.151
	不燃ごみ	0.015			0.015
	合計	0.52	0.15	0.00	0.67

一般廃棄物の再資源化率



産業廃棄物※1	廃プラスチック類	1.12			
	木くず	13.1			
	金属くず	0.01			
	がれき類	70.00			
	ガラス陶磁器くず	13.47			
	コンクリートガラ	712.80			
	廃アルカリ		55.94		
	繊維くず				
	廃油				
	汚泥		0.88		
	石綿含有廃棄物			20.72	
	管理型混合廃棄物			8.27	
	安定型混合廃棄物				
	合計	810.50	56.82	28.99	896.31

※1: 上記産業廃棄物排出量実績は、解体工事及び清掃作業の請負工事にて発生した廃棄物です。

産業廃棄物の再資源化率



3. 環境経営目標とその実績

3-1. CO₂発生量削減※購入電力排出係数0.531(kg-CO₂/kWh)

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標		中期目標
			2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月	2020年4月～ 2021年3月	目標達成状況	2022年4月～ 2023年3月
車両 燃費及び 二酸化炭素発生量	本社 燃費平均(ガソリン)	km/L	15.39	15.25	15.54	-0.29	15.85
	ガソリン使用量総計(年間)	L	6,541	6,405	6,285	120	6,163
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	15,186	14,860	14,581	279	14,298
	福岡エコジョーセンター 燃費平均(アムロール車・平本ディーラー車)	km/L	5.37	5.82	5.69	0.13	5.8
	軽油使用量総計(年間)	L	36,231	33,744	34,515	-771	33,860
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	95,082	87,060	89,049	-1,989	87,359
	福岡エコジョーセンター 燃費平均(パッカー車)	km/L	3.91	4.06	4.03	0.03	4.11
	軽油使用量総計(年間)	L	38,238	38,321	38,606	-285	37,855
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	100,350	98,868	99,603	-735	97,666
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(10t車)	km/L	2.71	2.63	2.74	-0.11	2.79
	軽油使用量総計(年間)	L	38,523	53,338	51,197	2,141	50,279
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	101,097	137,612	132,088	5,524	129,720
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(アムロール・平本ディーラー車)	km/L	5.18	5.51	5.48	0.03	5.59
	軽油使用量総計(年間)	L	36,482	41,503	41,730	-227	40,909
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	95,741	107,078	107,663	-585	105,545
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(パッカー車)	km/L	4.34	4.21	4.42	-0.21	4.51
	軽油使用量総計(年間)	L	7,569	5,574	5,309	265	5,203
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	19,864	14,381	13,697	684	13,424
	大和営業所 燃費平均(パッカー車)	km/L	4.24	4.03	4.47	-0.44	4.56
	軽油使用量総計(年間)	L	26,213	27,144	24,472	2,672	23,989
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	68,792	70,032	63,138	6,894	61,892

基準のガソリン及び軽油使用量は、昨年度実績による

短期及び中期目標のガソリン及び軽油使用量は、実績に対する比率で算出

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標		中期目標
			2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月	2020年4月～ 2021年3月	目標達成状況	2022年4月～ 2023年3月
重機 燃費及び 二酸化炭素発生量	福岡エコジョーセンター 燃費平均(重機)	AW/L	0.428	0.311	0.329	-0.018	0.332
	軽油使用量総計(年間)	L	9,817	12,100	11,438	662	11,335
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	25,763	31,218	29,510	1,708	29,244
	茅ヶ崎リサイクルセンター 燃費平均(重機)	AW/L	0.257	0.224	0.226	-0.002	0.228
	軽油使用量総計(年間)	L	10,537	10,623	10,529	94	10,437
	CO2発生量総計(年間)	kg-CO2	27,653	27,407	27,165	242	26,927

基準の軽油使用量は、昨年度実績による

短期及び中期目標の軽油使用量は、実績に対する比率で算出

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標		中長期目標
			2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月	2020年4月～ 2021年3月	目標達成状況	2022年4月～ 2023年3月
電気・ ガス・ 水使用量 及び二酸化 炭素発生量	本社 電気使用量平均	Kwh	970	917	960	-43	940
	電気使用量総計	Kwh	11,634	10,998	11,518	-520	11,285
	CO2発生量総計	kg-CO2	6,178	5,840	6,116	-276	5,992
	福浦エコロジーセンター 電気使用量平均	Kwh	2,914	2,805	2,885	-80	2,827
	電気使用量総計	Kwh	34,967	33,656	34,617	-961	33,918
	CO2発生量総計	kg-CO2	18,567	17,871	18,382	-511	18,010
	茅ヶ崎リサイクルセンター 電気使用量平均	Kwh	800	833	792	41	776
	電気使用量総計	Kwh	9,602	9,998	9,506	492	9,314
	CO2発生量総計	kg-CO2	5,099	5,309	5,048	261	4,946
	大和 営業所電気使用量平均	Kwh	56	46	—	—	—
	電気使用量総計	Kwh	667	547	—	—	—
	CO2発生量総計	kg-CO2	354	290	—	—	—
	福浦エコロジーセンター ガス使用量平均	m3	2.7	7.3	2.6	4.7	2.6
	ガス使用量総計	m3	32	88	31.7	56.3	31
	CO2発生量総計	kg-CO2	69	190	68	122	67
	全施設 水使用量平均	m3	69.9	64.1	69.1	-5.0	67.7
	水使用量総計	m3	838	764.5	829.6	-65.1	812.9

基準の各使用量は、昨年度実績による

※化学物質については、現在未使用の為削減目標は設定していません。

3-2. 水資源使用量削減

水道使用量は少量のため、節水に関する注意喚起を行います。

(単位：m³)

施設名	2018年4月～ 2019年3月まで	2019年4月～ 2020年3月まで	2020年4月～ 2021年3月まで
	水使用量 合計	水使用量 合計	水使用量 合計
本社	100	116.5	124
福浦エコロジーセンター	448	509.5	347.5
茅ヶ崎リサイクルセンター	186	180	255
大和営業所	34	32	38
全施設	768	838	764.5

4. 主要な環境経営計画の内容と取組み結果の評価 及び次年度の取組内容

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価（2020年4月～2021年3月）				課題・今後の方針等
		車両 台数	目標(平均)	実績(平均)	達成 区分	
C O 2 削減	燃費向上（ガソリン） 全営業車 ・エコドライブ実施	4	15.54 km/L	15.25 km/L	△	（取組内容と結果） 1. 4t車以下のアームロール車で燃費の値が目標値を超える事が出来た。朝の暖気運転や停車後のアイドリングを必要最小限にしたり、ドライバー間で顧客の情報を共有して、道や客先で迷ったり無駄な走行を避ける事が出来ている。 2. 目標を下回る（達成区分△）車種が発生してしまった。主な原因として、コロナ過の状況で毎年実施している勉強会が開催出来ず、エコ運転の徹底が不十分であった。また業務が忙しくなってしまった時に急発進や必要以上のスピードを出してしまうケースがあった。
	燃費向上（軽油） アームロール車・平ボディ車 〔福浦管轄〕 ・エコドライブ実施	9	5.69 km/L	5.82 km/L	○	
	燃費向上（軽油） バンパー車 〔福浦管轄〕 ・エコドライブ実施	8	4.03 km/L	4.06 km/L	○	
	燃費向上（軽油） 10t アームロール車 〔茅ヶ崎管轄〕 ・エコドライブ実施	3	2.74 km/L	2.63 km/L	△	
	燃費向上（軽油） アームロール車・平ボディ車 〔茅ヶ崎管轄〕 ・エコドライブ実施	11	5.48 km/L	5.51 km/L	○	（課題・今後の方針） 1. 各従業員にエコドライブの意識向上と現状値を把握してもらう為に掲示板への貼り付けを含め、社内伝達の実行を継続して行っていく。 （特に運転手に取り組む気持ちになる様な伝達方法・配車の組み方も含めて工夫して取り入れていく必要がある。）
	燃費向上（軽油） バンパー車 〔茅ヶ崎管轄〕 ・エコドライブ実施	2	4.42 km/L	4.21 km/L	△	
	燃費向上（軽油） バンパー車 〔大和管轄〕 ・エコドライブ実施	4	4.47 km/L	4.03 km/L	△	

○：目標達成 △：目標未達成（1 km/L未満） ×：目標未達成

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価（2020年4月～2021年3月）				課題・今後の方針等
		車両 台数	目標(平均)	実績(平均)	達成 区分	
C O 2 削減	燃費向上（重機） 〔福浦管轄〕 ・エコドライブ実施	4	0.329 Aw/L	0.311 Aw/L	×	・2019年度の実績に給油の記録が漏れていた可能性があり、その影響で2020年度は高い目標値が設定されてしまった。 ・確実な給油記録を行い、正しい情報の発信を行う。
	燃費向上（重機） 〔茅ヶ崎管轄〕 ・エコドライブ実施	3	0.226 Aw/L	0.224 Aw/L	△	

○：目標達成 △：目標未達成（3%未満） ×：目標未達成

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価 (2020年4月～2021年3月)			
		目標(合計)	実績(合計)	達成区分	課題・今後の方針等
CO2削減	電力使用量削減(本社) ・不要照明の消灯 ・LED照明の導入	11,518 kwh	10,998 kwh	○	・LED照明を導入し、電気使用量を削減する事が出来た。 ・適切な範囲での使用を心がける。
	電力使用量削減(福浦) ・不要照明の消灯 ・LED照明の導入	34,617 kwh	33,656 kwh	○	・使用量は増加傾向であったが、冬場の建屋建設時に破砕機の使用を停止しており、結果使用量減少となった。 ・新設備の使用状況を把握し、適切な範囲での使用を心がける。
	電力使用量削減(茅ヶ崎) ・不要照明の消灯 ・LED照明の導入	9,506 kwh	9,998 kwh	×	・残業が増えて、全体的に使用量が増加してしまった。 ・エアコンの設定温度管理を行って、必要以上の使用を控える。
	CO2発生量削減(全社)	565,245 Kg-CO2	618,256 Kg-CO2	×	・車両使用量(走行距離)の増加(2019年度→2020年度4.9%増)に伴ってCO2発生量も増加。 ・エコドライブによるCO2発生量の削減。

○：目標達成 △：目標未達成(3%未満) ×：目標未達成
CO2発生量の目標値は、昨年度の実績に1%アップ(削減)した値

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価 (2020年4月～2021年3月)			
		目標	実績	達成区分	課題・今後の方針等
水使用量削減(全社) ・表示による注意喚起		829.6 m3	764.5 m3	○	・洗車等必要な範囲で使用する事が出来た。 ・高圧洗浄機を使用しての自家用車の洗車は極力控える。
自社廃棄物の再資源化率向上 ・分別の徹底		産廃 85%	66.9%	×	・石綿含有廃棄物や混合物、汚泥や廃アルカリの処理でリサイクル出来ない場合が多く発生した。 ・本社の可燃ごみの排出が多くあった。コロナ対策で布タオル→紙タオルに変更の影響が大きかった。今後の動向を注視する。
		一般 89%	75.8%		
中間処理後の廃棄物の再資源化率向上 ・仕分け分別の徹底		81%	94.4%	○	・分別の徹底が実行出来た。 ・リサイクル処理が強化出来た。 ・顧客への分別提案が理解され、分けて管理される場合が増えた。 ・新入社員の教育。

○：目標達成 ×：目標未達成(水使用量に関しては、△：目標未達成(3%未満)有り)

主要な環境経営計画の内容	取組み結果の評価（2020年4月～2021年3月）		
	実績内容	達成区分	課題・今後の方針等
電子マニフェストの実運用化	電子マニフェスト運用	△	・一次マニフェストは、引き続き電子の対応と範囲拡大を目指す。 ・二次マニフェストで、一部電子を利用しての処分場への搬入を実施。拡大を目指す。
教育訓練	社員教育未実行	×	・コロナ過の状況の為、社員が集まるための教育や緊急事態等の訓練が実施出来なかった。 ・コロナ収束後、教育訓練を再開。

○：目標達成 △：一部達成 ×：目標未達成

【総評】

業務が忙しくなった時の車両や重機のエコ運転の低下、そして残業に伴う照明やエアコン使用の増加が活動を行う中で懸念される材料となっています。

これからの時代、排出事業者とも連携して廃棄物の出し方や分別について真剣に考えていく必要があります。分別を実行する事で、コスト削減に繋がるだけでなく、廃棄物の再資源化向上、処理業者の仕分け時間短縮による無理の少ないエコ活動の実施、残業時間短縮によるCO2発生量の削減など、当社が抱える問題を解消しつつ地球温暖化防止にも貢献する事が出来ます。当社は、これらを提案し実行して参ります。

＜活動写真＞（2020年度は、コロナ過の影響を危惧して未実施）



新入社員教育



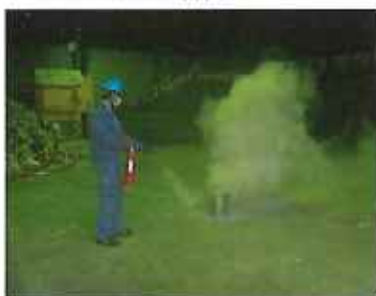
安全講習



安全講習（外部講師）



消火訓練



エコアクション21活動報告

5. 次年度の取組目標

環境経営目標(2021年4月～2022年3月)

環境経営目標			基準値 (平均)	短期目標 (平均) 燃費1%向上	中期目標 (平均) 燃費3%向上
			2020年4月 ～21年3月	2021年4月 ～22年3月	2023年4月 ～24年3月
車両 燃費向上によるCO2削減	所属	車番			
	本社 (ガソリン)	営業車全車	15.25km/L 0.1523(kg-CO2)	15.40km/L 0.1508(kg-CO2)	15.71km/L 0.1480(kg-CO2)
	福浦 (軽油)	7-ムロール・平ホテイ車	5.82km/L 0.4509(kg-CO2)	5.88km/L 0.4463(kg-CO2)	5.99km/L 0.4381(kg-CO2)
		パッカー車	4.06km/L 0.6463(kg-CO2)	4.10km/L 0.6400(kg-CO2)	4.18km/L 0.6278(kg-CO2)
	茅ヶ崎 (軽油)	10t7-ムロール車	2.63km/L 0.9977(kg-CO2)	2.66km/L 0.9865(kg-CO2)	2.71km/L 0.9683(kg-CO2)
		7-ムロール・平ホテイ車	5.51km/L 0.4762(kg-CO2)	5.57km/L 0.4711(kg-CO2)	5.68km/L 0.4620(kg-CO2)
		パッカー車	4.21km/L 0.6233(kg-CO2)	4.25km/L 0.6174(kg-CO2)	4.34km/L 0.6046(kg-CO2)
	大和 (軽油)	パッカー車	4.03km/L 0.6511(kg-CO2)	4.07km/L 0.6447(kg-CO2)	4.16km/L 0.6308(kg-CO2)

・エコドライブの実施により燃費の向上を目指し、化石燃料の使用量を削減し、CO2発生の削減も行います。

環境経営目標		基準値 (平均)	短期目標 (平均) 0.5%向上	中期目標 (平均) 据え置き
		2019年4月 ～21年3月	2021年4月 ～22年3月	2023年4月 ～24年3月
重機 燃費向上によるCO2削減	福浦 (軽油)	0.355AW/L 7.3915(kg-CO2)	0.357AW/L 7.3501(kg-CO2)	0.357AW/L 7.3501(kg-CO2)
	茅ヶ崎 (軽油)	0.294AW/L 8.9252(kg-CO2)	0.295AW/L 8.8949(kg-CO2)	0.295AW/L 8.8949(kg-CO2)

・エコドライブの実施により燃費の向上を目指し、化石燃料の使用量を削減し、CO2発生の削減も行います。

・中期目標は、据え置き（短期目標と同一）にて設定

環境経営目標		基準値 (合計)	短期目標 (合計) 1%削減	中期目標 (合計) 3%削減
		2020年4月 ～21年3月	2021年4月 ～22年3月	2023年4月 ～24年3月
電気使用量削減による CO2削減	本社	10,998Kwh 5839.94(kg-CO2)	10,888Kwh 5781.53(kg-CO2)	10,668Kwh 5664.71(kg-CO2)
	福浦エコロジセンター	33,656Kwh 17871.34(kg-CO2)	33,319Kwh 17692.39(kg-CO2)	32,646Kwh 17335.03(kg-CO2)
	茅ヶ崎リサイクルセンター	9,998Kwh 5308.94(kg-CO2)	9,898Kwh 5255.84(kg-CO2)	9,698Kwh 5149.64(kg-CO2)
ガス使用量削減による CO2削減	福浦エコロジセンター	88m3 185.54(kg-CO2)	87.1m3 183.64(kg-CO2)	85.4m3 180.06(kg-CO2)

・電気及びガス使用量を削減することによりCO2削減を目指します。※購入電力排出係数0.531 (kg-CO2/kwh)

環境経営目標		基準値 (合計)	短期目標 (合計) 1%削減	中期目標 (合計) 3%削減
		2020年4月 ～21年3月	2021年4月 ～22年3月	2023年4月 ～24年3月
水使用量削減	本社・大和営業所			
	福浦エコロジセンター	769.5m3	761.8m3	746.4m3
	茅ヶ崎リサイクルセンター			

・各施設での使用量は少ないため、全施設合計での管理を行い、水使用量削減を目指します。

環境経営目標		基準値	短期目標 1%向上	中期目標 3%向上
		2020年4月 ～21年3月	2021年4月 ～22年3月	2023年4月 ～24年3月
自社廃棄物の 再資源化率向上 (産廃)	本社	84%	85%	85%
自社廃棄物の 再資源化率向上 (一般)		76%	77%	79%
中間処理後の廃棄物の 再資源化率向上	福浦エコリソーセンター	81%	82%	84%

- ・ 自社発生廃棄物の再資源化率向上及び中間処理後の廃棄物の再資源化率向上を目指します。
- ・ 自社廃棄物（産廃）の目標値は、据え置き（短期目標と同一）にて設定

環境経営目標	取組内容
電子マニフェストの実運用化 (本社)	電子マニフェストシステムの実運用化を行います。 当社中間処理後廃棄物の二次マニフェストについても一部に留まる電子化の範囲拡大を目指します。
教育訓練 (全社)	社員教育及び緊急対応訓練を実施して、廃棄物に関する法律や、廃棄物に関する知識の向上を目指し、緊急時に適切な行動が出来るような教育を行います。

6. 環境関連法規への違反、公訴等の有無

環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局よりの違反等の
指摘は過去3年間ありません。



7. 代表者による全体見直しと見直しの結果

エコドライブを意識した運転など、エコアクション21が社内に浸透しエコを意識した活動が出来つつあります。

ただ一方で、各センターに立ち寄ると、無人の部屋でエアコンがつけっぱなしになっていたり、誰もいない場所で扇風機・サーキュレーターが回っていたりする場面が散見します。温度設定や使用の強弱に意識が向けられている様ですが、まず改善しなければならないところはこういった部分ではないでしょうか。

そして今はコロナ対策も重要です。窓を開けたりサーキュレーター等で空気を流れる様にしたりして換気を行います。それによってエアコン効率も低下してしましますが、エコ活動とコロナ対策を両立してやっていかなければなりません。出来る範囲からやっていきましょう。